

## 〔代官山ルール運用会議の活動報告〕

### ●ワークショップ「地域環境見て歩き」

2011年11月26日(土)

タウンスタディ(街の定点観測)と称し、代官山のさまざまな資源・場面(生活環境、緑環境、景観資源等)をマップ化(場所の特性・空間軸・時間軸で蓄積)するため、第一弾ワークショップを開催しました。

「維持したい風景」(建築:高さ・ボリューム、樹木・植栽/街並み:魅力ある街並み、沿道環境、生活道路・小路、用途の混在・バランス)や「生活環境問題の発生箇所」を見て歩きました。街並みに対する感謝状をつくろう等のアイデアも提案されました。



### ●「穏田まちづくり」現場視察と「代官山ルール」の意見交換

2012年1月10日(火)

・渋谷区まちづくり課の山口氏により現地を案内いただき、商店会副会長の田中さんからルール策定の経緯についてうかがいました。

穏田の地域の変化(美容院→ファッション系→飲食・店舗)の中で、5年ほど前から生活環境問題が深刻化し、地域ルールの必要性が出てきた。この地域は住民 = 商店主であることが特徴。深夜営業等が増えると犯罪やドラッグが増える。そのような街にしたいくないという気持ちでスタートした。営業時間については、現実的に営業が成り立つように話し合いで緩和しているとのことでした。



穏田地区の商店街



穏田まちづくりルールの看板

・現行の「代官山ルール」策定から5年の更新時期を迎えていることから、地域ルールについての意見交換を行ないました。

生活環境問題は、縦割り行政を連携させる契機にもなる。商店会を巻き込んで一緒にルールづくりをしてはどうか。オーナーの意識、責任を啓発するために、地域ルール案を事前に配布したり、看板を設けたり、パンフレットも作成したい等の意見が出ました。わがまちルールの更新方法については、渋谷区でも検討中とのことでした。